

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研 究 テーマ	本学の SDGs 活動の推進				
研究組織	代 表 者	所属・職名	薬学部・教授 (SDGs イニシアティブ推進委員長)	氏名	近藤 啓
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・准教授 (SDGs イニシアティブ運営委員)	氏名	宮崎 晋生
		所属・職名	国際関係学部・准教授 (SDGs イニシアティブ運営委員)	氏名	孫 暁剛
		所属・職名	看護学部・准教授 (SDGs イニシアティブ運営委員)	氏名	鈴木 和香子
	発 表 者	所属・職名	薬学部・教授 (SDGs イニシアティブ推進委員長)	氏名	近藤 啓

講演題目
本学の SDGs 活動の推進
研究の目的、成果及び今後の展望 昨今の世の中では「SDGs」という言葉がコモディティ化しており、SDGs は特別なものではなくなりつつある。令和元年 11 月に本学は「静岡県立大学 SDGs 宣言」を発表し、本学の全学的な SDGs への取組方針を学内外に公表した。その宣言において、SDGs が誓う「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、人材の育成を通じ、また、知の探求を通じて、地域をつくり、地域をむすび、そして、未来へつないでいくことを本学の使命としている。SDGs 活動は一過性のものではなく、「サステイナブル」であってこそ意味を成す。令和 6 年度は、昨年度までの活動の継続を中心として、以下の活動を中心に取り組んだ。 1. 全学共通科目としての SDGs 概論の実施 多くの企業が理念に SDGs の目標を掲げている現在、将来を担う学生が SDGs に関する深い知識を身につけることは重要である。SDGs の全体目標および 17 目標を理解し説明できる知識を身につけるとともに、広い視野から問題点を分析し、俯瞰的に解決策を立案できる思考法の習得を目標とし、前期に開講した。各学部より 15 名の教員が担当し、オムニバス形式で授業が展開された。様々な切り口から SDGs を考える絶好の機会であり、本年度受講した 76 名の学生にとって有益な授業になったものと考えた。 2. 県内高校との連携活動 本学は、2024 年 5 月に富士東高等学校および静岡東高等学校にと SDGs を始めとする学際的・領域横断的な分野において、大学等の専門機関と連携した探究活動の充実について、連携協力を行い、相互の発展及び人材の育成に寄与することを目的とした覚書を締結した。両校が行う SDGs に繋がる探究課題の解決に協力するため、本学の学生および教職員が高校を訪問し、学習・研究方法について高校生にアドバイスをを行った。教職員の派遣人数は 15 名、延べ 21 名、高校へ訪問指導した県大生は 23 名、延べ 130 名を数えた。課題設定、研究方法、結果のまとめ方、プレゼンテーションの仕方を中心に積極的かつ活発な連携活動が展開された。 3. 講演会の開催 9 月 25 日（水）に、SDGs イニシアティブ推進委員会の主催の講演会「両生類から考える静岡県の生物多様性とその未来」を開催した。ふじのくに地球環境史ミュージアム 主任研究員 岡宮久規先生を講師として迎えた。講演では、生態系への保全における重要事項として「種にとらわれすぎないこと」、「複雑性を理解すること」の 2 点を挙げ、海と陸、川と森、寄生虫と魚など、それぞれの生物がお互いをコントロールし、食べ物を供給しあっていることを忘れてはならないことが強調された。